
目次

序文 4

エグゼクティブ・サマリー

1 主要メッセージ 6

2 アース・セキュリティ・インデックス 8

3 ビジネス外交の青写真 10

スポンサー

Schweizerische Eidgenossenschaft
Confédération suisse
Confederazione Svizzera
Confederaziun svizra

Swiss Agency for Development
and Cooperation SDC



日本語翻訳作成：富士通総研

グローバル・アウトリーチ・パートナー

wbcasd

著作権

© アース・セキュリティ・グループ 2017
アース・セキュリティ・グループのマークやロゴ
タイプ、アース・セキュリティ・インデックス、
ラジアル・ダイアグラム、およびこの文書中の
情報の提示は、アース・セキュリティ社の所有
物であり、事前の書面による承認なく複製
してはならない。

免責事項

この報告書の中で表された見解や意見はア
ース・セキュリティ・グループ独自の見解や意
見であり、スポンサーやパートナーの意見を
反映するものではない。誤りや遺漏の責任
の全てはアース・セキュリティ・グループに帰
する。

アース・セキュリティ・グループearthsecuritygroup.com

INTERNATIONAL
CHAMBER
OF COMMERCE

The world business organization

持続可能な開発目標は、開発とビジネスの双方にとって新たな政治的枠組みである。これらの目標は、次の10年の持続可能な成長のために早急に取り組まなければならない責務を示している。

この報告書は、グローバル企業がリスクをうまく乗り切り、社会にインパクトを及ぼす機会を導くための青写真を提供する。

この要約はアース・セキュリティ・レポート 2017 の一部である。報告書全文は earthsecuritygroup.com からダウンロードできる。



序文

今年の報告書は、各国の持続可能な開発における優先課題と民間セクターの成長を合致させるという我々のミッションにおける新たな到達点を示すものである。

アース・セキュリティ・レポート 2017 は、企業や投資家の持続可能な成長にとって重要となる課題や指標、行動を明確にするための実践的な方法を提案している。

企業は、イノベーションや投資、マーケティング、グローバル・バリューチェーンの力を、固定化した社会的不平等や環境破壊に対する解決策として活用するよう求められている。このような変化を成し遂げるには、企業と政府が協働し、全世界の強い願望を実際の行動に変えることが必要である。

持続可能な開発目標はこれらの願望に対する共通の枠組みを提供している。この報告書は、我々の戦略的分析および取り組みを基に、持続可能な開発のためのビジネス外交における大胆な変革を提言するものである。

アレハンドロ・リトフスキ

創業者兼 CEO

アース・セキュリティ・グループ

スイス開発協力庁 (SDC)

私は、昨年のアース・セキュリティ・レポートの序文において、持続可能な開発に向けて個人的な行動様式から集団的な行動様式に移行しようとする際の主要な制限要因は、恐怖に基づいて決定してしまうことであると強調した。以下では、その序文を踏まえて述べてみたい。

アース・セキュリティ・レポート 2017 は、我々の諸課題に対する取り組みを巧みに助けてくれるものである。持続可能な開発目標 (SDG) の深い密林に本気で入り込もうとする人々にとって、この報告書は、非常に解決困難な恐ろしいジレンマに対して、部分的にでも民間セクターが解決するための実践的なアプローチを提供してくれている。

外交の領域において、「我々は社会的不平等に対抗する必要がある」もしくは「社会的安定を確保するには若者向けの新規雇用を創出することが重要である」などの発言に同意することは、一般的に比較的容易である。しかし現実には、容易に実現するものではない。

この報告書は、特に産業や地域にフォーカスすることによって、企業が持続的成長のために本気で重点的に取り組むことができる共通の関心領域や共同的な行動の領域を提案することに成功している。

このすべてが意味することは、触発されたプロフェッショナルが新たなグループを形成し、ビジネスの新たなルールを定義づけを支援するために立ち上がらなければならないということである。そうすれば、集権的ではしばしば父権的な現在のビジネスの手法から組織的に取って代わるような、新しい持続可能な経済の発展が押し進められるのである。

このようなプロフェッショナルたちが、新たな世代のビジネス外交官になるだろう。

ピオ・ウェンヌブスト

大使、事務局長補 スイス開発協力庁 (SDC)、
スイス連邦外務省 (FDFA)



アレハンドロ・
リトフスキ
ESG

ピオ・
ウェンヌブスト
SDC

ダニエル・
クライアー
HSBC

ゾーイ・
ナイト
HSBC

ピーター・
バッカー
WBCSD

ジョン・
ダニロビッチ
ICC

HSBC

持続可能な経済システムの発展において、我々一人ひとりには利害関係を有している。気候変動、資源不足、社会的圧力といった世界的な課題に対して、企業、投資家、市民社会、公共セクターが共同して対応することが、豊かな未来を確実なものにするカギとなる。金融機関は、環境・社会・ガバナンス (ESG) の視点による審査を投資判断に組み込むことを進めており、これらの課題のインパクトのマネジメントを手助けしようとしている。

ESG リスクに関する投資家の理解の高まりにともなって、企業が長期的な戦略計画を立案する際に ESG 要因をマネジメントすることがますます重要になっている。しかし、これらの要因は特定や把握が難しい場合がある。したがって、持続可能な開発目標 (SDGs) は、資金供給によって、不必要な害を引き起こすことなく、成長を実現できるようにするために重要な解決策を提供するものである。

この報告書は、明確で力強い分析により、ESG の課題を戦略的に統合する方法とともに、経済成長にとって重要な SDGs のインパクトに重点的に取り組む方法を提示している。SDGs の実施に重要なこととして、アース・セキュリティ・グループは、これらの開発目標を企業や投資家のための具体的な測定基準に変換する枠組みを策定した。

HSBC はアース・セキュリティ・レポート 2017 のスポンサーであることを誇りに感じている。報告書に含まれる分析や提言は、銀行、資産所有者、機関投資家に対して、より持続可能な方法で将来の成長の道筋を形成するための明確な枠組みを提供している。

ダニエル・クライアー
戦略グループ長
兼持続可能な金融グループ長
HSBC

ゾーイ・ナイト
グループ長
HSBC 持続可能な金融センター
HSBC

**持続可能な開発のための世界
経済人会議 (WBCSD)**

先見の明のある企業は、持続可能性を企業戦略、意思決定、ガバナンスの核に統合する努力を以前から行ってきた。長年にわたってイノベーションを行ってきた経験から、企業は、SDGs の実施に関する魅力的かつふさわしいパートナーである。

SDGs に合致したビジネス・ソリューションによって、企業は、世界的な目標達成に向けて世界を動かして行きながら、消費者の需要を予測し、成長市場における地位を確立し、必要とする資源へのアクセスを確保し、サプライチェーンを強化するだけでなく、リスクをより上手にマネジメントすることができる。

我々が住んでいる世界の資源に限りがあること、そして我々が地球の限界にさらに負荷をかけていることは自明である。私は、アース・セキュリティ・グループが、企業の成長と強靭さにとって大切である SDGs を重視する企業とともに、ビジネスモデルを再考するためにシステム基点の取り組みの必要性を強調している点を賞賛する。

報告書は、ビジネスだけでは何事も成し得ないという事実を補強している。良いガバナンス、経済的誘因、適切かつ堅固な法制度の枠組みの条件、そして官民連携が不可欠である。

持続可能なビジネスは、持続可能な開発の中心にある。それは安全で強靭な世界を構築する唯一の選択肢であり、その世界では繁栄が共有され、貧困は過去のものとなる。WBCSD はこの報告書の主要なメッセージの拡散を支援し、科学に基づいた目標に支えられながら、大きな規模で実行に移す手助けをすることを待ち望んでいる。

ピーター・バックナー
事務総長兼 CEO
持続可能な開発のための世界経済人会議
(WBCSD)

国際商工会議所 (ICC)

2015 年に SDGs が開始されて以来、SDGs はグローバル・ビジネス・コミュニティの中で「BDGs」つまり「ビジネス開発目標」として知られるべきである、と私は一貫して唱えてきた。

なぜなら SDGs は純粋な経済的責務を示しているからである。その目標達成は、生産性の向上、雇用の拡大、そしてより高い経済成長を意味するだろう。それに対して、行動しないことによる代償は、気候変動によって引き起こされる自然災害の頻繁化から、グローバリゼーションに対する近年の一般市民の相次ぐ反発に至るまで、ますます明らかである。

先進企業は、企業規模に関わらず、持続可能性を事業の中心に据えることの利点をすでに認識している。しかしながら、我々は SDGs を達成するために必要な規模や変化の速さをいまだに分かっていない。

アース・セキュリティ・レポート 2017 は、SDGs の中心にある商業上の責務を理解するための、企業と投資家に向けた明確な分析的ロードマップを提供している。今年の調査結果の核心は単純な真実である。つまり、悪化する不平等、貧困、気候変動という世界では、民間セクターが強固に機能することは不可能だということである。

公共政策は、企業による SDGs の実施を推進させるために不可欠な役割を果たす。国際商工会議所は、国連総会において世界のビジネス・コミュニティの意見を表明するという我々独特の役割において、各国の首都および国連のそれぞれで SDGs の実施について各国政府と対話するために、今年の報告書の調査結果を積極的に活用するだろう。

ジョン・ダニロビッチ
事務総長
国際商工会議所
(ICC)

エグゼクティブ・サマリー

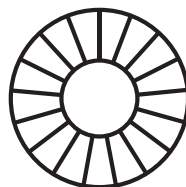
主要メッセージ



主要メッセージ 1

限りある地球資源のために、ビジネスモデルの再考をしなければならなくなっている。企業は商業上の責務と持続可能性の責務を合致させなければならない。

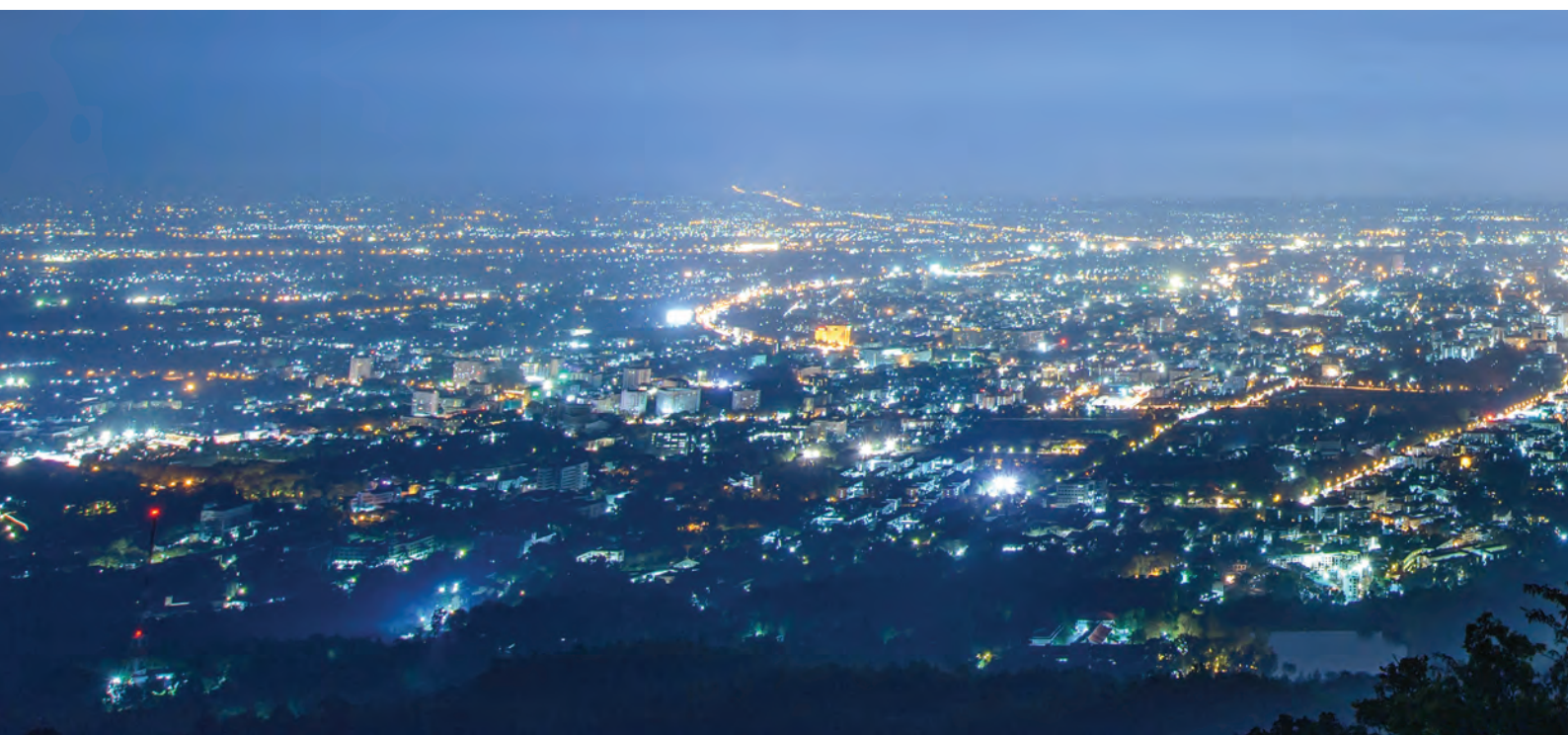
資源に限りのある世界では、これまで通りの成長は不可能である。すべての産業は、社会システムおよび生態系の中で共存かつ共進化しながら、長期的に商業的な成長を可能にするモデルを再考しなければならない。報告書で検討されたすべての産業分野において、持続可能性が将来のビジネスの強靱さに決定的に重要であることが示されている。社会面・環境面の強い要請を背景として、コミュニティと生態系サービスを再生させるようにデザインされたビジネスモデルが、生産性と競争力の新たなパラダイムにおいて既に実施されている。

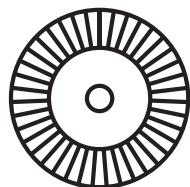


主要メッセージ 2

地域における企業への要請が企業競争力に影響を及ぼすことから、企業は、自らの持続的な成長にとって重要となるSDGsに重点的に取りくまなければならない。

世界の様々な地域で、持続可能な開発目標(SDGs)は、産業の成長にとって重要となる特定の課題を浮き彫りにしている。ビジネス界によるSDGsの実施は大きな課題でありつづけている。ビジネスと持続可能な開発委員会は、ビジネス界におけるSDGsの認知度向上を支援している。この報告書は、どのように企業が戦略的にSDGsを実施できるのかを示している。このことは、企業が事業を行っている社会において最も重要となる持続可能な成長の責務に、ビジネス戦略を合致させることを意味する。

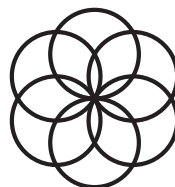




主要メッセージ 3

社会問題と環境問題の相互関連性が強まることから、企業は、社会の新たな動きに対応する際に、システム思考を採用しなければならない。

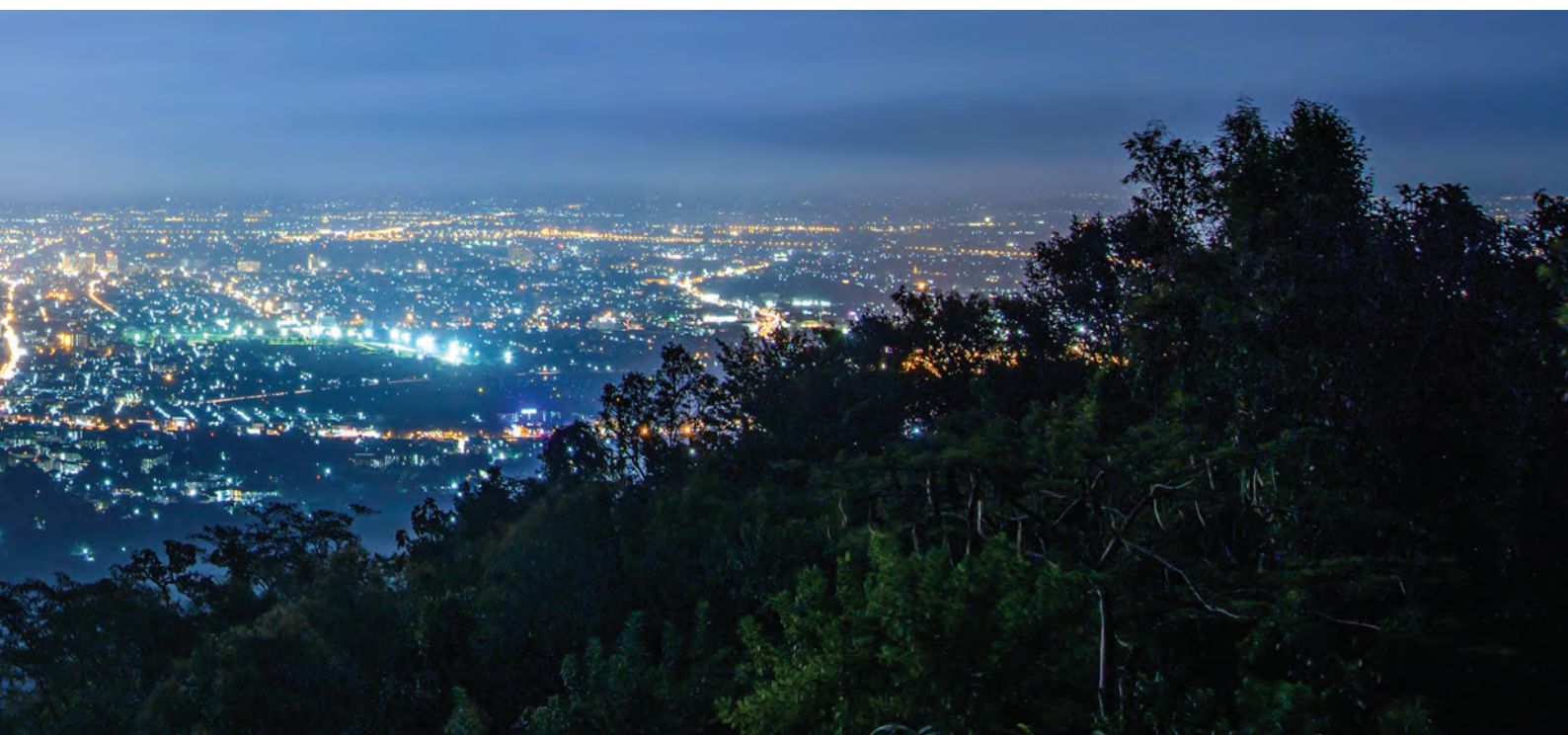
経済システムは地球の限界や人間の福利と一致しない。入手可能な清浄な水や空気から新たな雇用の機会に至るまで、利用可能な資源に負荷がかかっているということは、環境・社会・ガバナンス (ESG) のリスクがますます相互に関連しつつある、ということの意味している。この新たな現実には、ESG のインパクトをマネジメントする際に、一般的に用いられる直線的なサイロ思考に疑問を投げかけている。企業や政府の意思決定者は、ますます複雑となる ESG リスクを予測し、地域の優先課題に対する投資の強靭性を高めるために、システム思考を採用しなければならない。



主要メッセージ 4

政府の政策は産業の転換に極めて重要である。包摂的な成長に向けた状態を形づくるためにはビジネス外交が必要である。

各国政府は、市民の信頼を失うことなく、産業の成長の道筋を転換する政策を進めなければならないという、大きな課題に直面している。先進的な企業は、持続可能で包摂的な投資モデルを拡大させるための政策誘因や根強く残る障壁を政府が理解できるように、時間と資源を投資しなければならない。そのようなことを可能にする環境を整えるためには、企業と政策立案者の間で、様々な観点や機会についてのより明確な相互理解とともに、より戦略的かつ十分な情報に基づく対話が必要である。



エグゼクティブ・サマリー

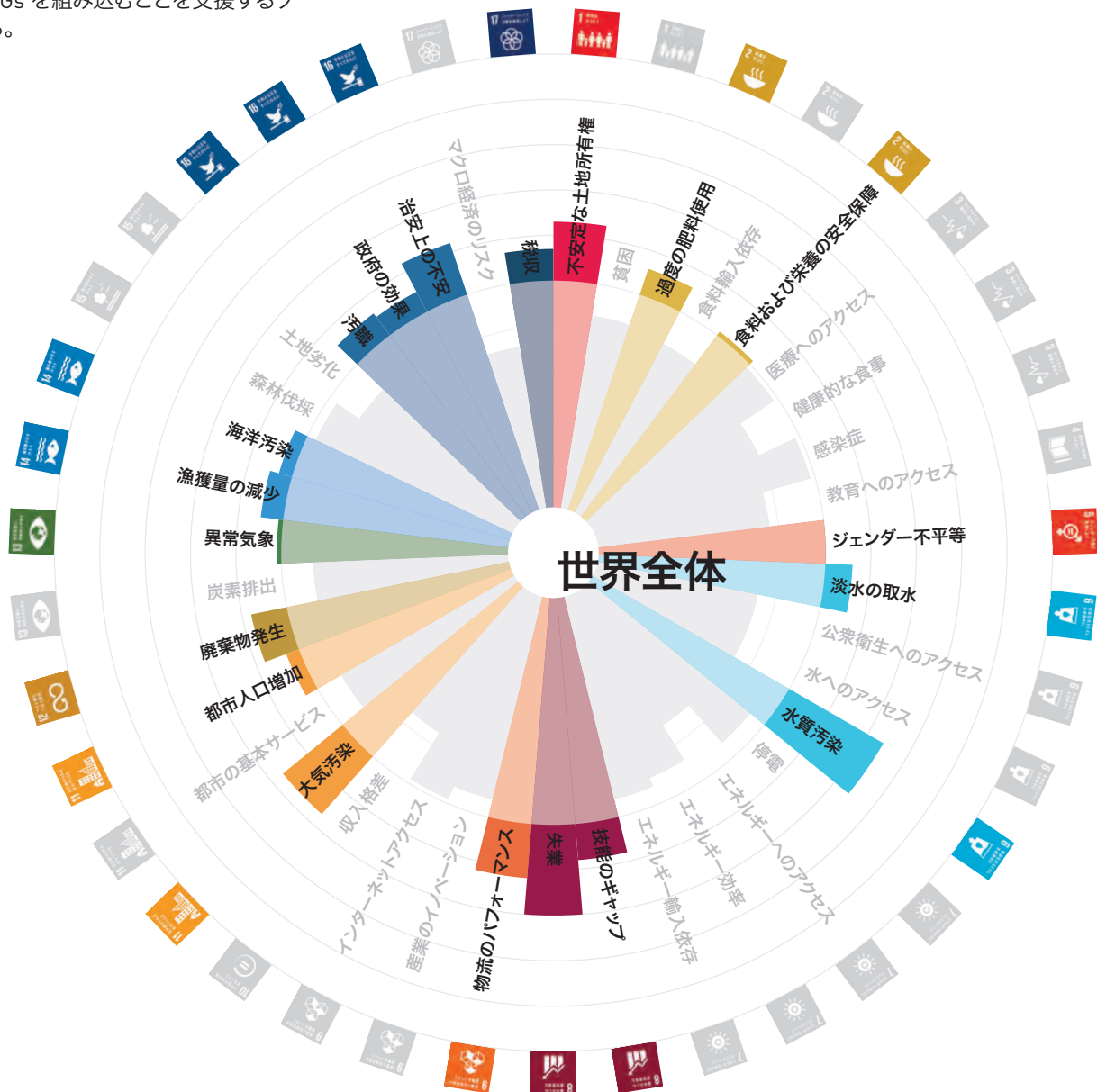
アース・セキュリティ・インデックス 2017: 持続的成長のために重要な SDGs のマッピング

アース・セキュリティ・インデックス・ダイアグラム

アース・セキュリティ・インデックス 2017 は、国際機関が作成した世界的に比較可能なデータセットを用い、民間セクターにとって重要な 39 の側面からなるカントリーリスクを整理している。このダイアグラムは、ある国が受ける圧力のスコアを、世界の他の地域との比較によって示している（高いスコアは圧力が高いことを意味する）。この ESI2017 は、持続可能な開発目標 (SDGs) のターゲットを基にして作成されたもので、民間セクターが持続的成長に関係する SDGs を組み込むことを支援するツールである。

下記の世界全体のダイアグラムは、世界のすべての国々を対象として平均的な圧力を計算したものであり、先進国と途上国双方の持続可能な成長にとって重要な 19 の課題を明らかにしている。

アース・セキュリティ・インデックス 2017 に関するさらなる情報についてはウェブサイト (<http://earthsecuritygroup.com>) を参照のこと。





アース・セキュリティ・インデックスの測定

SDG 1 貧困をなくそう
不安定な土地所有権
 個人の土地所有権が認識され守られるという安心感の欠如
貧困
 貧困人口の比率

SDG 2 飢餓をゼロに
過度の肥料使用
 水質汚染を引き起こす肥料の使用すぎ
食料輸入依存
 食料輸入依存度
食料および栄養の安全保障
 継続的または構造的な貧困や低所得を反映する、食料安全保障が確保されていないレベル

SDG 3 すべての人に健康と福祉を
医療へのアクセス
 基本的な医療へのアクセス度
健康的な食事
 病気を引き起こすような肥満や食生活のレベル
感染症
 人口あたりの結核や HIV を含む感染症率

SDG 4 質の高い教育をみんなに
教育へのアクセス
 若者の識字レベルおよび学校教育年数

SDG 5 ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダー不平等
 政治システム、教育、労働市場において女性が受ける不平等

SDG 6 安全な水とトイレを世界中に
淡水の取水
 再生可能な全ての淡水資源に対する、淡水の取水の持続可能性
公衆衛生へのアクセス
 より良い公衆衛生にアクセスできる人口の比率
水へのアクセス
 より安全な水源にアクセスできる人口の比率
水質汚染
 家庭、産業、農業からの排水による水質汚染度

SDG 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
停電
 月あたりの停電報告数
エネルギーへのアクセス
 電気および非固形燃料にアクセスできる人口の比率
エネルギー効率
 産業部門のエネルギー消費による CO₂ 強度
エネルギー輸入依存
 非再生可能エネルギーと再生可能エネルギーを含む一次エネルギー消費における海外輸入依存度

SDG 8 働きがいも経済成長も
技能のギャップ
 知識集約型スキルおよび人材競争力のレベル
失業
 全労働者数に対する割合としての完全失業率

SDG 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
物流のパフォーマンス
 国の貿易や運輸に関するインフラの質
産業のイノベーション
 市民 10 万人あたりの平均特許申請数
インターネットアクセス
 インターネットを利用している人口の割合

SDG 10 人や国の不平等をなくそう
収入格差
 収入格差のレベルを測るための、ジニ係数に基づいた、人口全体での所得分配度

SDG 11 住み続けられるまちづくりを
大気汚染
 人口による重み付けをされた、大気汚染度の年間中央値
都市の基本サービス
 都市人口における、より安全な水源やより良い公衆衛生へのアクセス
都市人口増加
 年間都市人口増加率

SDG 12 つくる責任つかう責任
廃棄物発生
 一人あたり一日あたりの廃棄物発生量

SDG 13 気候変動に具体的な対策を
炭素排出
 人間の経済活動に由来する炭素排出量
異常気象
 人命や経済の損失によって計測される、一年間に異常気象が発生するレベル

SDG 14 海の豊かさを守ろう
漁獲量の減少
 水産資源の減少や乱獲の影響を受けた全ての漁獲量の割合
海洋汚染
 自然および人為的な原因による近海の汚染度

SDG 15 陸の豊かさを守ろう
森林伐採
 2001 年から 2014 年にかけての森林被覆の減少量
土地劣化
 陸上の生態系サービスの減少や損失によるコスト

SDG 16 平和と公正をすべての人に
汚職
 公的汚職が認識されたレベル
政府の効果
 政策実施の効果、および公共サービスの質や独立性
治安上の不安
 テロリズム、暴力、犯罪、政治的不安定のレベル

SDG 17 パートナーシップで目標を達成しよう
マクロ経済のリスク
 債務不履行の可能性やインフレ、赤字に由来するマクロ経済のリスクにさらされること
税収
 GDP における税収の比率

エグゼクティブ・サマリー

ビジネス外交の青写真：

安全と繁栄の共有を達成するために産業を変容させる

目的

- 1 持続可能な成長に関して重要となるリスクや商業上の責務に重点を置いて、企業や投資家に対して SDGs を説明する。
- 2 グローバリゼーションの要となる地域において持続可能な成長の機会を促進するため、世界的および地域的な産業ネットワークを支援する。
- 3 包摂的な成長の優先課題への対応に各国政府が重点的に取り組むために、民間部門との連携や協働に政府を導く。

青写真

01

02

分野 自動車	分野 製薬
地域 アフリカ	地域 インド
着目点 アフリカの拡大する大都市における大気汚染や交通事故は、グローバルな自動車メーカーにとって次の課題である。	着目点 インドにおける抗菌薬の使用過多と水質汚染は、グローバルな製薬産業を弱体化させる。
提言 <ol style="list-style-type: none"> 1 自動車メーカーは、自らの持続可能性にとって重要な SDGs に対して、市場成長戦略を合致させるべきである。 2 アフリカ開発銀行は、企業や各都市の政府と連携して、電気をを用いた移動手段に融資するべきである。 3 アフリカ自動車協会と各都市は、電気自動車を一気に推進するためのロードマップを策定するために協働するべきである。 	提言 <ol style="list-style-type: none"> 1 インドの製薬会社は、廃水ゼロの施設を開発するために、持続可能な資金戦略を採用するべきである。 2 インドにおける国家的な抗菌薬キャンペーンは、市民が水質汚染を制御できるように、実績のあるクラウドソーシング技術を展開するべきである。 3 インドの業界団体であるインド商工会議所連盟 (FICCI)、インド工業連盟 (CII)、インド製薬業者機構 (OPPI) は、国際抗菌薬耐性 (AMR) 産業連盟の地域パートナーとして、ビジネス活動のハブを創設するべきである。

03

04

05

分野 エネルギーインフラ
地域 中国の一带一路
着目点 中央アジアの水に関する地域協力と地元の雇用は、中国の一带一路イニシアティブ (BRI) にとって不可欠である。
提言 1 BRI のエネルギー投資家は、水や地元の雇用のように選択されたSDGsを投資の枠組みに組み込むべきである。 2 中国政府と BRI の投資家は、中央アジア再生可能エネルギー統一システム (URESCA) の青写真を作成すべきである。 3 中国の開発銀行は、中央アジアの将来のクリーン電力回廊に関する対話を支援し促進するべきである。

分野 家庭用電子機器
地域 東南アジア
着目点 グローバルな電子機器メーカーにとって、東南アジア諸国連合 (ASEAN) における工場の労働条件は、地域特有の課題である。
提言 1 グローバルな電子機器メーカーは、グローバルサプライチェーンの枠組みにおいて、労働者の権利を守る責任を示すべきである。 2 電子機器メーカーは、グローバルな消費者価値を形成するために、製品ブランドの特徴として人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を組み込むべきである。 3 ASEAN ビジネス諮問会議およびグローバルな電子機器メーカーは、ASEAN 地域レベルで、人間らしい雇用条件を確保する政策について協働するべきである。

分野 農業関連産業 (コーヒー)
地域 ラテンアメリカ
着目点 ラテンアメリカにおける気候変動と貧困は、コーヒーの生産および世界のコーヒー貿易に脅威を与えている。
提言 1 グローバルな小売業者は、再生型モデルに基づいた魅力的なコーヒーブランドをつくり、グローバルな消費者価値を形成するべきである。 2 グローバルなコーヒー会社は、強靱性の原理に基づいた新たなコーヒー生産モデルを展開するような「再生型ビジネス・インキュベーター」を創設するべきである。 3 持続可能な貿易イニシアチブ (IDH)、グローバル・コーヒー・プラットフォーム (GCP)、サステナブル・コーヒー・チャレンジ (SCC) といった、持続可能なコーヒー・プラットフォームは、コーヒーの再生型ビジネスモデルの主流化のために協働するべきである。

